

## 笠岡市教育委員会 2月臨時会 会議録

1 開会年月日	令和8年2月13日(金) 午後2時29分
2 場 所	笠岡市教育委員会会議室
3 出席委員等の氏名	教育長 大重 義法 委員 藤谷幸弘 東山琴子 西崎倫子 杉本和歳
4 欠席委員の氏名	なし
5 会議に出席した者の職・氏名	教育部長 塚本 真一 教育総務課長 川口 葉子 学校教育課長 後藤 嘉孝 生涯学習課長 古宮 奈美子 スポーツ推進課長 重見 圭一 給食センター所長 山本 英司 教育総務課課長補佐 藤代 幸弘
6 付議案件及び議決状況	協議報告事項 別議案紙のとおり
7 会議の状況	別紙のとおり
8 閉会年月日	令和8年2月13日(金) 午後15時04分

議事録署名委員 教育委員 藤 谷 幸 弘

教育委員 西 崎 倫 子

会議録を調製した職員 川 口 葉 子

# 会 議 の 状 況

## 1 開 会 （大重教育長）

## 2 前回議事録（定例会）の報告 （藤代課長補佐）

前回令和8年1月定例会の会議録を報告します。1月定例会は、令和8年1月16日（金）午後2時59分から教育委員会会議室で開催されました。出席者は藤谷委員、東山委員、西崎委員のご出席をいただきました。

審議案件は、「議案第1号 笠岡市社会教育委員の委嘱について」、「議案第2号 笠岡市立竹喬美術館条例施行規則及び笠岡市立カブトガニ博物館条例施行規則の一部を改正する規則について」、「議案第3号 令和7年度末校長・教員等人事異動内申方針について」、「報告第1号 教育長の専決処分した感謝状の贈呈について」の4議案でした。閉会は同日の午後4時45分でした。

## 3 教育長の報告（挨拶）

今日は教育委員の施設訪問ということで大変お世話になり、ありがとうございました。大分駆け足の内容ではありましたが、色々な施設、それから学校等々を実際に見に行くことは本当に大事なことだなということを改めて感じました。

教育委員会として、一つの方向性を持って取組を進めているところですが、それぞれの施設・学校において色々な取組の内容とか課題とか、その辺は実態に基づいてやっている部分が多いので、実際に現場で見てくる・聞いてくる、そこで色々やりとりをしてもらうことが非常に大事だなと思っています。今日見たり感じたり思われたりしたことを、今後の教育委員会の運営に活かしていただけたらと思っていますので、よろしくお願いします。

今日は臨時会ということで、大きく二つの内容について報告等をさせていただくようになるかと思いますが、忌憚のないご意見をこの後もいただけますよう、よろしくお願いします。

## 4 議事録署名人の指名（藤谷委員、西崎委員）

## 5 協議・報告

### （1）第4期笠岡市教育振興基本計画について（教育総務課）

川口課長 資料は別冊の第4期笠岡市教育振興基本計画（案）をお願いします。

1月の定例会においてご意見等をいただきましたので、そのご意見を反映し修正した箇所についてご報告します。まず1ページ目の3段目の1行目、「本市の上位計画である笠岡市第8次総合計画は」とあったのですが、ここは「第8次笠岡市総合計画」の誤りでしたので、正しく修正します。2ページ目の3、「計画期間」の箇所ですが、令和10年度と令和11年度について年度の「度」という字

がなかったので、追記しました。3ページの2、「施策展開の考え方」の5行目、「楽しさや喜びに繋がるスポーツ等の推進」の前側の鉤括弧が二つありましたので、一つ削除しています。5ページの「現状と課題・対応の方向性」の部分の8行目の一番最後が、「重要」という漢字が誤っていましたので修正しています。

23ページの評価指標の項ですが、基本施策4の評価指標の「いけない」が漢字の「行」になっていましたので、ひらがなに修正し「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」としています。一番最後のページ、裏表紙の中側、「事務局・教育機関の機構」のページです。「スポーツ推進課」の「スポーツ係」の中にある「B&G海洋センター」の最後の「ー」が消えていましたので、「ー」を表示させています。

5ページに戻っていただいて、ここから第3章として「基本方針を実現するための施策」となりますが、5ページから18ページにそれぞれ一番上に、四角の枠の中に基本施策があります。その頭の部分に「基本施策」という文字を追記します。併せて18ページについて、枠の中が左揃えになっていましたので、他のページと合わせて中央揃えにしています。「基本方針5」という文字をつけて、中央揃えにしています。

今回第4期笠岡市教育振興基本計画を策定するにあたっては、今修正したものを2月20日（金）から3月12日（木）の間にパブリックコメントを募集して、市民の皆様からご意見をいただき、その意見等を反映したものをもう一度3月の最後の教育委員会で協議、決定ということにさせていただきたいと思っています。」とってしまうのかなと思いました。もし良かったら「段階的・体系的に積み上げる」みたいな、もう少し簡単な言葉にしても良いかな、でも長ったらしいなと思ったり、その辺りをどう思われるか意見を聞きたいところがあります。別に変えなくても良いです。

後藤課長 分かりにくい言葉かなとも思いますが、この「系統性・連続性」というのは小中一貫教育推進計画に出てくる言葉なので、ここをもし変えたとしたら、小中一貫教育推進計画の方も言葉が変わってくるかなと。

杉本委員 小中一貫でいうと、7ページの上から8行目ぐらいに「指導の系統性」と書いてありますが、お任せします。

大重教育長 見て意味が全然分からないわけではないとは思いますが。

教育委員 確かに聞き慣れないと言われると、そうかなと思って。というのが小中一貫教育で、今まで私もここに座っていたので、聞き慣れていないかと言われると聞き慣れてきてしまっているから。一般の市民の方が見た時に、確かに分かりにくいのかなと思ったりはします。ただ、注釈を付けるというのもまた難しいというか。

大重教育長 実はこの教育振興基本計画については、校長会の方にも見てもらっています。小学校と中学校の校長会長にも見てもらって、この前教育長室に来てもらって

色々ご意見をいただいたのですが、例えば今杉本委員さんが仰ったような、いわゆる言葉の説明的なものを入れたら良いのではないかという部分でいうと、例えば10ページの基本施策4というのが下の方にありますよね。その1行目の真ん中辺、「ダイバーシティ&インクルージョン」という言葉、これが今は大分使われるような言葉にはなってきていますが、これが一般的によく分かる言葉かどうかとか、11ページの真ん中辺に「主な取組」というものがあります。二つ目のところに「不登校の状態1～6」と入れています。我々是不登校の状態と言ったら、例のポンチ絵がまず頭に浮かんで、当たり前のように出てくるのですが、これが一般的かという説明が要るのではないかと思います。

教育委員 確かに不登校の状態は、何も知らない方には「何だ」という話ですね。

大重教育長 我々はいつも触れているので、そういう感覚になっていますが。

教育委員 1枚ものの説明のものを別紙として添付するぐらいのことをしないと、理解はされないですね。先ほどの系統性というところも、イラストで描かれていたような感じのものを添付されていると分かりやすいと思います。0の感覚でもう一度読み直すと、そういったところは他にもあるかもしれないですね。

杉本委員 系統性は調べたらぱっと出てくるもので、こちらは絶対出てこないですね。どうするのですかね。

大重教育長 教育振興基本計画は、一般市民の方々に開かれているという観点が非常に大事になってくると思いますから、その辺をどうするのかというのをパブコメの結果等々も踏まえていきながら、注釈を入れるべきところはどういう風に入れるかという辺りも、そこから先で検討するということが良いですかね。事務局の方はどんなですか。

後藤課長 検討していきます。

大重教育長 そういうことでよろしく願います。他の皆様はもうよろしいですかね。

教育委員 (異議なし)

## (2) 笠岡市小中一貫教育推進計画について (学校教育課)

後藤課長 笠岡市小中一貫教育推進計画ですが、前回の教育委員会でご意見をいただいた部分について修正した、もしくは追記・削除した部分がありますのでご報告します。冊子の表紙の「笠岡市小中一貫教育推進計画」の下のところですが、今回の計画が改訂されたものと分かるように「改訂版」と追記しています。1ページをご覧ください。コメント2になりますが、「笠岡市小中一貫教育推進計画」の後に(第1期)とありましたけれども、ここは分かりにくい部分もありますので削除しています。コメント3のところ(第2期)という風にあったのですが、ここを「改訂版」としています。それからコメント4のところ、「子供」というものは漢字表記でしたが、上位計画に合わせて「供」の部分はひらがなで表記ということで修正しています。6ページをご覧ください。6ページのコメント5ですが、

グラフについては、月表示のフォントのサイズが小さくて見づらいというご指摘を受けましたので、これは縮小しているのですが小さいのですが、フォントのポイントの方を上げています。最後に12ページをご覧ください。コメント6ですが、「令和7年度」となっていたものを「令和8年度」と修正しています。本計画の期間が10ヶ年ということになりますので、それに合わせて、「令和16年度」ではなく「令和17年度」という風に修正をさせていただきます。このことについてご意見等をいただけたらと思います。よろしくお願いします。

大重教育長 委員の皆様からご質問・ご意見があれば、お願いします。

杉本委員 1月に議論されたということで、その時に用意しておけば良かったのですが、7ページで「更に小中9年間という長期的な視点で児童生徒を育成できるため、内面的な資質を着実に育むことが可能です」、その次に「学園全体で統一された価値観と指導方針のもと」という、イメージの問題なのですけれども、「統一された価値観」という言葉がすごくネガティブに捉えられる可能性があるなと感じたのですが、個性の否定とか多様性の否定みたいな、そういう時によく出てくる統一した価値観と感じてしまって、少しニュアンスを変えることができないかとまず一つ思いました。例えば「教育の方向性を共有する」とかゆるい言葉にするというか。そこは気になったところです。

大重教育長 本当にご指摘のとおりだなと思って聞いていますが、事務局の方としてはいかがですか。

後藤課長 話を伺いながら、確かにそういう捉え方もできるかなと思いますので、どのような言葉に変えるかというのはこちらの方で検討していきたいと思います。

大重教育長 小中一貫教育をやっていく良さというのは、小学校と中学校が9年間で同じ目標を同じように共通理解をして追いかけていくという、そこが大事だという風に我々は言っています。それと合わせれば良いという話だと思います。「価値観」という言葉を使ってしまうと今仰るような捉えにもなってくると思うので、教育の方向性の共有ということでもちろん良いし、同じ目標に向けてという表現にしたら良いのではないかと思います。事務局の方でご検討いただくということでよろしいですかね。

教育委員 先ほどの視察の中で、金浦中学校のパンフレットに「小学校と共通した」という説明の中にも出ているのですが、「学園目標」となっているので、そういった言葉でも良いのかなと。

大重教育長 「学園」という言い方は、この計画上ではスタンダードという捉えで良いのですかね。他にも「学園」という言葉は出てきますか。

教育委員 そこのところは私も心配なところがあって、私達は「学園」というのが地域コミュニティと分かっていますが、他の人がこれを見た時に、「学園」と聞いた時のイメージが、違う方で「学園」というイメージが付きやすいかなというのは思っています。

大重教育長 「中学校ブロック」という方が分かりやすいのでしょうか。

教育委員 小中一貫教育のポスターを作っているではないですか。そこに「学園」という言葉は登場していましたよね。多分それも私達がずっと関わってきているから「学園」で、最初に私も「学園」と聞いた時にどうしても私立の学園が出てきてしまったのを、そこで切り替えなければということも思ったので、一番分かりやすいのは「中学校ブロック」なのかなと思います。

大重教育長 確かに名前はついていますよね。笠岡東海成学園とか笠岡西学園とか金浦みらい学園とか。

教育委員 ただ、色々な人から聞くと、ピンと来ていない人の方が多いです。あれは「学校の名前が変わるのかな」と聞かれる人がほとんどなのです。「ではないですよ」と言うのですが、なかなか説明も難しいというのがあります。

後藤課長 中学校ブロックの愛称なのですが、それがまだ浸透していません。一般的には一つの学校の名前として思われがちですね。

大重教育長 一体感を持ってという部分で言うと、「学園」という言葉を使っていくのはありなのだと思うけれども、何も説明がない中でいきなり「学園」というのがぼんと出てくると、そこが十分理解できていない人達にとっては違った捉えられ方をするよという話ですよ。だから、そこを「中学校ブロック」という言葉に変えるだけで良いのか、「学園」という言葉をもっと少し浸透させていきたいという事務局の思いがあるのであれば、その辺をきちんと言葉の定義をした上で使っていく方が良いのか、どちらに整理をするかですよ。

教育委員 あるいは「学園」のあとに括弧書きで「中学校ブロック」とすると繋がっていくのかと。

大重教育長 括弧書きで「中学校ブロック」というものを入れるのが一番簡単かも分からないですね。それでは、括弧書きで「中学校ブロック」というものを入れる方向で検討してもらおうということで良いですか。他の委員さん方も、その件についてはよろしいですか。

杉本委員 「統一された価値観と指導方針の下」と続いていって、良いことがいっぱい起きたよという風に、問題認識の件数が鈍化しましたとか良いことが起きました、しかし学力面において課題が見えてきました、というのが、良いことが起きたから反対に課題が出てきたという風に見えてしまったのです。これは課題が見えてきましたではなくて、課題は依然としてあったということなのかなと。先のをやったからから課題ができてしまったという風だったので。表現の問題とか印象の問題なのですが。

大重教育長 このままだと、学力面の課題というのが更に増してきたという捉え方に繋がりますよね。学力については、令和5年度と6年度の比較で言うと、6年度の方は若干良くなってきているので、学力の課題がここで大きく増したのかということそうではない。やっとな学力の部分に正面から向き合って、色々な対応ができるよう

な状況になってきていると思うので、依然課題があるという表現にこの塊を変えていくのでしょうか。手応えということと言うと上向いている部分もあるということなので、杉本委員さんが仰るようにこの部分については依然大きな課題となっていて、今後その課題解決のためにしっかりやらないといけないのだという、そういう形で1行目の書き換えをしてもらおうということによって皆さんいかがですか。他の委員さん方はいかがですか。

教育委員 (なし)

大重教育長 今ご指摘のあったところを事務局の方で検討していただきます。タイムスケジュール的に厳しいということがありますから、どう修正するかというのは事務局に任せていただくということによろしいですか。

事務局 (承認)

### (3) その他

(事務局・教育委員共に連絡事項なし)

大重教育長 それでは、以上で臨時会会を閉会とさせていただけたらと思います。次回定例会は、2月20日午後3時から教育委員会会議室ということになりますので、よろしく申し上げます。以上で終了します。大変お世話になりました。ありがとうございました。